

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY



平成24年11月5日(月)～11月11日(日)〔平成24年第45週〕の感染症発生状況

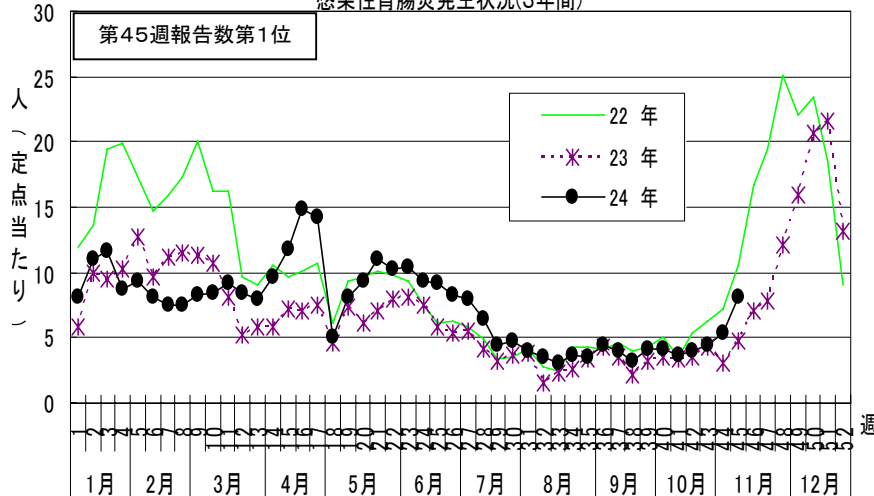
第45週で患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘 3)RSウイルス感染症でした。

感染性胃腸炎は定点当たり8.12人と前週(5.30)より患者報告数は増加し、例年より高いレベルで推移しています。

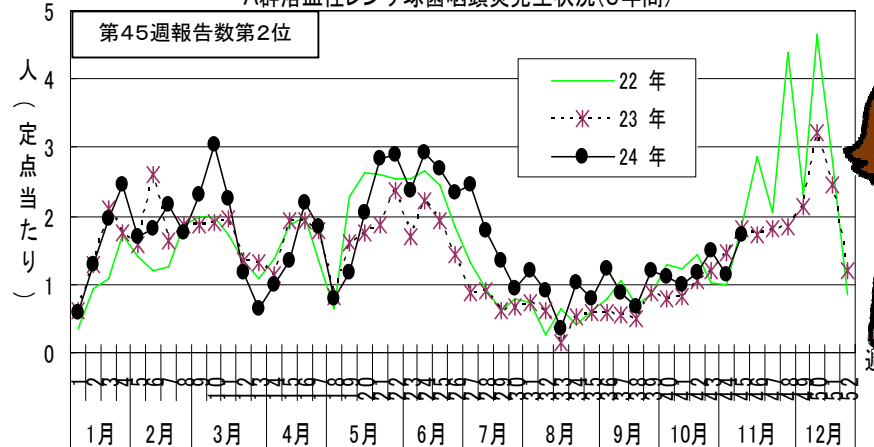
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり1.73人と前週(1.15)より患者報告数はやや増加し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

腸管出血性大腸菌感染症の届出が3件(3件とも推定感染経路:不明、推定感染地域:国内)ありました。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



「ノロウイルス食中毒警戒情報」発令中！！

毎年、秋から冬にかけて、ノロウイルスなどを原因とする感染性胃腸炎患者の報告が増加します。また、それとほぼ同時にノロウイルスによる食中毒の発生も増加する傾向が認められています。

今年も、神奈川県内において、感染性胃腸炎患者数が前週の値に比べ3週間連続して増加したことから、「ノロウイルス食中毒警戒情報」が発令されました。

発令期間は、平成24年11月12日(月曜日)から平成25年3月31日(日曜日)までとなっています。

みんなで徹底！！ノロウイルスの感染予防

- ① 二枚貝類の取扱いには十分注意し、中心部まで加熱調理(85℃で1分以上)して食べましょう。
- ② 患者の便やおう吐物、それに汚染された手指、水、食品などを介して経口感染するので、手洗いを徹底しましょう。
- ③ 便やおう吐物を放置すると、含まれていたノロウイルスが乾燥し空气中に舞い上がり、それが口から入ることで感染することもあります。患者の便やおむつ、おう吐物は乾燥しないうちに速やかに片付けましょう。
- ④ 必要に応じて家庭用塩素系漂白剤(※次亜塩素酸ナトリウム)などで消毒してください。※漂白作用があるので使用の際にはご注意ください。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎の症状は？

吐き気、おう吐、下痢、腹痛で、熱はそれほど出ません。通常1～2日で症状はおさまります。

ただし、高齢者や乳幼児等はおう吐物をのどに詰まらせたり、下痢によって脱水症状がひどくなることもあり、油断は禁物です。

